

、労働組合指導者であった。……その限りにお  
いて労働組合は、我々が今日ドイツ国民経済  
を語りドイツ国家を語ることできる事実  
に討して著しい功績を有つものである。とは、  
ほかならぬ日資本主義の終焉か？自由営利社  
会の必然性<sup>①</sup>の著者、保守的社政策論者  
ドルフ・ヴェーバー自らの護辞ではなかつたか  
(『労働組合の考察』。五七以上の事實は、その  
七本東洋照)  
反面、労働組合の確立、争議権、罷業権の項  
本制的限界を示すものであつた。労働者大衆  
の観点から團結権は当然に罷業権をコロラリ  
いとすべきである、といふ要領が掲げられ  
のとは全く対蹠的に、資本の観点から、團結  
結権の承認が、当然に罷業権制約の用意を  
もたうべきであつたこと。すなわち一九二三  
年十月、労働争議仲裁制度に関する命令が、  
ワイマール憲法自らの認められた命令に基く独  
裁的権力の行使によつて

5

10

15

( 脚部用紙 )

第一次大戦後ワイマル憲法による團結權の承認もまた決して例外ではなかつたのみか、一般的危機のもとにおける國家独占資本主義體制の一環としてその限界は、一をう挟隘であつたいわねばならない。ドイツ資本主義の帝國主義的發展段階そのものうちに含まれる独占資本の対極としての労働者階級大衆の高度の主体的成熟、彼らの組織的斗争力の必然的増大が、第一次大戦となかんずくこれに續く民主革命の過程において、團結の自由、労働組合の確立を迫る客觀的要因であつたことは、極めて確かである。ところで、その支配者もはや自己の力だけではとうてい維持しえないほど弱體となつた独占資本が、（カール・ラウゼの）最後の守護者たるべき階層と結ぶべきかあり、ブルジョア支配のこの最後の守護者たるべきものか、戦後のオーストリアにおいては、紅戦の方ゆゑに統治の伝統的力をもつ社会民主党であつたことは、ドイツの独占資本自身も決して代へては自ら後継者も年立に老白したのとくであつた。

5

10

15

第一次大戦後ワイマル憲法による團結權の  
永もまた法として例外ではなかつたのみか、一  
般的危機のもとにおける國家独占資本主義體  
制の一環としてその限界は、一をう扶植であ

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

第一次大戦後ワイマル憲法による團結権の承認もまた決して例外ではなかつたのみか、一般的危機のもとにおける國家独占資本主義體制の一環としてその限界は、一方は狭位であつた。第一次大戦後ドイツ資本主義再建の問題は、独占資本がその支配を自己のみどもはや維持しえなほど弱點となつた事實によつて左右されたこと、こと、

5

10

15

( 附 部 用 紙 )

自體によつて、労働力の價值法則が立つゆゑか  
れうる可能性があるかのごとくに説かれてい  
る。またいやしくも標準的搾取の確保は労働  
力價值法則の貫徹にかかわるかゝり、資本制  
國家の社會政策としてこの労働組合の確認は  
勤者團結の自由、争議權、罷業權の保障は  
然、無制約的なものでありうるかのごとくで  
あ

5

10

15

( 扉 部 用 紙 )

とに、資本制の蓄積の一般法則と「実現」の  
問題として捨象することは、社会政策の生産  
力説的誤謬を修正するものにほかならぬ。

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )

とに、資本制的蓄積の一般法則を、剰餘價值  
のいわゆる「実現」の問題にすぎないかの  
とく「捨象」することは、社会政策の生産力説の  
誤謬を受け継いでいるものといわねばならぬ  
い。更に、この理論にいわゆる「資本

5

10

15

( 扉  
部  
用  
紙 )

人の富を生産し、また彼らの労働の生産力が  
 増加すればするほど、資本の増殖手段として  
 の彼らの機能すらも彼らにとつてはますます  
 賞味なくなるのは何故に然るか、という秘密  
 を彼らに察知するや否や、彼ら自身の間の競  
 争の強度は全く相対的過剰人口の壁迫りに依り  
 するとということと彼らに発見するや否や、か  
 くして彼らが、彼らの階級に対する資本制の  
 生産の自然法則の破壊的諸結果を粉砕または  
 微弱ならしめるために、  
資本論のドラク版第巻  
上七五頁 邦訳第巻四三頁  
 組織されたものであり、資本制蓄積の一般  
 的法則のもとにおける労働組合の労働者階級  
 自らにとつての最も本源的な歴史的使命は、  
 まさにここに見出される。ところで曾つて一  
 八二四年には、わがかに~~歴々~~歴々ながら大衆の歴  
 白のもとに、罷業および労働組合を禁ずる諸  
 法律を断念するに至つたイギリスの議會いま  
 たしたかつてイギリス資本が、

5

10

15

( 障部用紙 )



時としては極めるべき強暴と暴動とに訴ふるのである。彼らは絶望的であり、絶望した人間の愚かさと無謀さとをもちて行動し、彼らの雇主をして、餓死するかしからずんば彼らの要求に戦慄して屈従するかを思はねはならないようにする。こうなると雇主の側もまた同様に喧噪なのであつて、官憲の助力を求め、使用人・労働者および渡り職人の團結を嚴重に取締るために作られた法<sup>規</sup>國を嚴格に適用することとを求めて止まない。こうしてこういふ躁然たる團結の暴力によつて労働者が何らかの利益をうることは極めて稀である。といふのはこれらの團結は一部は官憲の干渉により、一部は労働者の大部分

5

10

15

( )  
時として極めて恐るべき強暴と暴動に  
訴ふる。彼らは絶望的であり、絶望した人間  
の愚かきと無謀さとをもちて行動し、餓死す  
るか、しからずんば彼らの虐主として彼らの  
要求に戦慄して屈従させねばならぬ。こうな

5

10

15

( 扉 部 用 紙 )

れたこの言葉こそは、労働者團結の自由が實  
本の近代的自由のコロフリ―として尊き出さ  
れるどころか、まさにその反対原理の措定で  
あり、それは労働者階級自らの斗争によつて  
のみ貫徹されうるものであることを刺すとこ  
ろなく示すものとして、労働組合の歴史的使  
命の端的思つ甚底的反省は先ずここにはじ  
まらねばならぬ。

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

れたこの言葉こそは、労働者團結の自由が實  
本の近代的自由のコロラリーとして導き出す  
れるどころか、まさにその反対原理の措置で  
あり、それは労働者階級自らの斗争によつて  
のみ貫徹されるものであつたことと

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

會協會 (Modern Workmen's Association) の結成の考  
 想となり、しかもこの組織成立こそは、政治  
 的性格をおびたもの況を眞に大衆的のプロレタ  
 リア革命運動の最初のもの (レーニン) たるチ  
 ヤーテイスト運動の発端となつた。そしてチ  
 ヤーテイストは、その周知の政治的要求とと  
 もに、イギリス労働者階級の標準労働日の  
 ための斗争の発原形態——彼らの経済的且  
 つ政治的要求、十時間法案のため政治的  
 斗争を展開したのである。労働組合と労働者  
 階級の政治的斗争との必然的因連はまた経済  
 斗争の政治斗争への必然的昂揚のこの古典的  
 な歴史的例證のうち、われわれは労働組合  
 の歴史的使命を最も的確に把握することかぞ  
 える。

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

とるものではなかつた。彼らの反抗の最も粗  
 野直見つ最も効果のあがらない形態は犯罪で  
 あつた。貧困は財産に対する傳統的な尊敬  
 を征服した。労働者は宥切論と働いた。われわ  
 れは工業の繁栄に伴つて犯罪が増加し、拘留  
 者の柔々の数が、消費される木綿の梱の数と  
 一定の比率を保つてゐるのを見た。とエンゲ  
 ルスも書いてゐる。

サニ卷

(イギリスにおける労働者の状態)  
 エンゲルス著、板三書社、訳註、ルース、小

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

となり、その過程において彼らは労働者團體  
禁止の制約のもとに、秘密結社の結成によつて  
自らの組合を作らば、必要を痛切に

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

紀のはじめから、そして近頃は、一七九九年お  
よび一八〇〇年に改めて全産業の労働組合の  
一般的且つ直接的禁止にさえも拡張され、か  
くて五百三十一年に亘つて存続した労働者団  
結禁止の残酷な諸法律が一八二四年にプロレ  
タリアートの脅威的態度に會つて遂に廃止さ  
れた歴史的事実との交互的関連において把握  
せねばならぬ。じつさい、一八二四、二五年  
の労働組合法の成立は、後者による似而非圓  
結核保障への著しい歪曲にも拘らず、遂に一  
八三四年オーウェン主義のもとに、

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )



紀の始めから、そして近頃は、一七九九年およ  
ひ一八〇〇年に改め、普遍的に拡張され、五  
百三十一年に亘つて存続した労働者團結禁止  
の残骸を法律が

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

青階級の自主的團結、労働組合の歴史的使命  
 にとつての、最大のまた最新の教訓もまた、  
 これらのうちこそ求められねばならないで  
 ある。

（一九四九・一一・二七）

5

10

15

( 扉 部 用 紙 )

にふい眼をももはや欺きえな。しかるに弱  
體化した敗戦資本主義體制の復讐が、い  
まも濃厚

5

10

15

( 原 部 用 紙 )

請水

利すところなく露ゆにされた。かくて、歴史

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

日本における失業と経済の史的考察

服部英太郎

一

敗戦日本資本主義経済の整理、復興過程に  
 おける行政整理と企業合理化によつて、大量  
 の失業の顕在化が愈々必要となつて来たいま  
 こそ世論を導きまた代表するかのごとく國民  
 の社会的連帯による失業問題の解決が説かれ  
 その具体的提案がなされ（東朝大官主言論）ている。我々はこれ  
 を聞くときかつこの世界経済恐慌渦中、民主  
 主義野刺崩壊直前ドイツの社会政策史的事実  
 とまづ想起せねばならぬ。まずこの  
 歴史的古恐慌の発端、多年に亘るドイツ労働  
 者階級の政治的また労働組合的教育によつて  
 發展せしめられた連帯の思想に訴へ、更に社  
 会保険制度の根柢に存する全労働者階級の無  
 條件的連帯の道徳的理念を規準として掛金引  
 上にはよる失業保険制の整理が行わねばならぬこ  
 とを提議した社会民主主義の政策提議者たち

5  
10  
15

( 脚 部 用 紙 )

世界恐慌の恐慌、大衆的失業の恐慌、  
 20世紀の恐慌、大衆的失業の恐慌、  
 20世紀の恐慌、大衆的失業の恐慌、

らも大恐慌下の大衆的失業の実態検討を嫌忌し  
 た。ただこれを紙上で潜在化せしめ、たけに止ま  
 ることはできず、また農業恐慌の潜在化のもの  
 には帰農奨励による失業潜在化の停滞化、政策  
 への依存も、わけにはゆかなかった。かく

て世界大恐慌下の失業対策の支配的形態とし  
 て新たに取上げられるに至ったのは、失業救  
 済土木事業施設にほかならぬ。それは先行形  
 態一六大都市日傭労働者救済事業に比べて遠  
 かに大規模な、日本資本主義の失業対策史上

劃期的なものであり、昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

五、三九、〇八六四、  
 六五、三九、〇八六四、  
 二五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

昭和六年度施行成績も事  
 業費支出額六五、三三九、八一八四、労働費支出額一、二  
 五、三九、〇八六四、

トノ事也

日本資本主義とその失業対策の歴史  
近取重商の「経済陣代」の生半端な経済政策を並用

|                               |                             |                             |                             |                             |                                 |                             |                             |                            |                             |                             |                             |                              |                           |                                    |                                |                              |                                      |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   |                                   |
|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <p>この日本資本主義は、大衆的失業の最初の敷在化</p> | <p>にいかに対処したか。大戦後の国際社会運動</p> | <p>の革命的昂揚、国際労働会議の決議またそれ</p> | <p>らの刺戟による日本労働者の自主的組織運動</p> | <p>、失業対策要求の圧力のもとに実現されたも</p> | <p>のは、職業紹介法(大正十年)、慈善的「社会事業的</p> | <p>性格の失業救済事業施設のほか、帰農の奨励</p> | <p>、大衆的取在失業の踏在化乃至停滞化政策こ</p> | <p>そが、失業対策の支那的形式にはかなうな</p> | <p>つた。大正九年戦後最初の恐慌、大衆的失業</p> | <p>対策としての帰農奨励は、大戦末前後の米價</p> | <p>昂騰と生絲輸出増大による農民層の相対的な</p> | <p>経済的向上、また好況による経営拡張と農家勞</p> | <p>働の都市流出による雇傭力不足の富農層</p> | <p>への影響も甚大か、日本は、戦後、三つの大中小失業問題に</p> | <p>あつた。それは、失業者の切り切りの金も回らない</p> | <p>職員の割合を如何と考へてみる。日本は如何に</p> | <p>戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> | <p>戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後</p> |
|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

この日本資本主義は、大衆的失業の最初の敷在化  
にいかに対処したか。大戦後の国際社会運動  
の革命的昂揚、国際労働会議の決議またそれ  
らの刺戟による日本労働者の自主的組織運動  
、失業対策要求の圧力のもとに実現されたも  
のは、職業紹介法(大正十年)、慈善的「社会事業的  
性格の失業救済事業施設のほか、帰農の奨励  
、大衆的取在失業の踏在化乃至停滞化政策こ  
そが、失業対策の支那的形式にはかなうな  
つた。大正九年戦後最初の恐慌、大衆的失業  
対策としての帰農奨励は、大戦末前後の米價  
昂騰と生絲輸出増大による農民層の相対的な  
経済的向上、また好況による経営拡張と農家勞  
働の都市流出による雇傭力不足の富農層  
への影響も甚大か、日本は、戦後、三つの大中小失業問題に  
あつた。それは、失業者の切り切りの金も回らない  
職員の割合を如何と考へてみる。日本は如何に  
戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後  
戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後  
戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後  
戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後、戦前、戦中、戦後

(脚注用紙)



閣連して決議した「労働組合に強力な管理権  
ある職業紹介所の設立」の要求のごとき労働  
力擔當者の自主性容認は、いたすら嫌忌に値  
するものたすまな、かのごとくであつた。そ  
しく職業紹介機構における労働者の自主性容  
認のこの不動の信條こそは、やがて戦時労働力  
の計画的配置を労働者の主動的協力を全く排  
除した總討主義のファシズムの労働強制に転落せ  
しめたの女か。敗戦後の労働力再配置を全く  
混乱せしめ職業紹介機構を全

しかりながら失業対策とて進して

日本も職業紹介所の性格として男をとり出し

めくくするまは海軍省が検討しての

失業対策を知るを缺いてはたこ

たの

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )

ま資本主義の一般的危機のもとにおける敗戦  
經濟の國家独占資本主義的整理合理化過程  
に必然不可避的と大量的失業に対する、近代  
的社會政策の理論的観点から見てこの「誠意の  
ない社會的プログラム」と「取歸りの感覺」  
とは、この初期的段階においてすでに範疇的  
に打ち出されていたといつても過言ではない  
であらう。

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

分たされ。そして慈善的救済に対応するも  
うは、治安警察法（明治三十三年）による労働者の  
自主性制限の慎重な用意にはかならかつた。

三

第一次世界大戦後世界資本主義

5

10

15

( 脚部用紙 )

日本資本家階級は、なにゆえ敗戦に至るまで  
社会政策の全堂底程を適して

5

10

15

( 脚部用紙 )

き日本資本主義は、大衆的失業の最初の歎在  
化にいかん対処し左に。大戦後の革命的昂揚

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

き日本資本主義は、大衆的失業の最初の動因  
化は

( )  
5

10

15

( )  
腹  
部  
用  
紙  
( )

絶対主義のシステムの支配体制のもとにお  
いては社会政策のこの生産力説に対する批判  
がなかつたわけではない。社会政策の資本制  
的合則性が直接的生産過程に関連していまこ  
とは明らかであるにしても、現実の資本の運  
動行程は直接的生産行程と流通行程との結合  
にあるかぎり、労働力の収取は利潤率のため  
のものに

資本主義の生産力説が

社会政策の批判の中心となる

資本主義の生産力説を正しく

社会政策の批判の中心となる

資本主義の生産力説を正しく

生産過程が資本主義と関係する

資本主義の生産力説を正しく

資本主義の生産力説を正しく

5

10

15

( 服部用紙 )

ゆる発展段階を貫き端初的であるとよま  
 た基底である。したがつて労働者階級の自  
 律的反抗運動がある場合にのみ社会政策は始  
 めて存在しうるものとす。考へ方は、社会政  
 策の最も抽象的な可能性の問題とその現実的  
 な問題とを同一視する誤謬に陥れるもので、  
 労働者運動の壓力は、社会政策実現のため  
 の條件とはなるがその本質規定ではありえない  
 。社会政策のいわゆる社会的必然性こそその本  
 質規定の一契機として把握し、社会政策と資本  
 制社会の経済的・社会的必然性において理解す  
 ることは、その端初的・基底の形態に關する  
 かり、生産力説の明確に否定するところであ  
 るが、社会政策が労働力を保全することにあ  
 りてまた同時に労働者をも保全強化し、彼ら  
 を益々社会的存在者たらしめる媒介的機能と  
 果たすことを認め、この社会的存在者として  
 の労働者階級を前提として労働力保全策の基  
 礎の上に、新たに「社会的必然性」としての社  
 会政策が追加され、労働者階級との妥協或は

生産者及び消費者の  
 相互の利益の均衡を  
 保ち、社会政策の  
 労働者階級の利益を  
 代表し、労働者階級  
 自身と社会政策との  
 交渉を促進し、社会  
 政策の實現を促進す  
 ること、これは労働者  
 階級の利益を代表し  
 社会政策との交渉を  
 促進し、社会政策の  
 實現を促進すること  
 である。

労働者階級の利益を  
 代表し、労働者階級  
 自身と社会政策との  
 交渉を促進し、社会  
 政策の實現を促進す  
 ること、これは労働者  
 階級の利益を代表し  
 社会政策との交渉を  
 促進し、社会政策の  
 實現を促進すること  
 である。

労働者階級の利益を  
 代表し、労働者階級  
 自身と社会政策との  
 交渉を促進し、社会  
 政策の實現を促進す  
 ること、これは労働者  
 階級の利益を代表し  
 社会政策との交渉を  
 促進し、社会政策の  
 實現を促進すること  
 である。

5  
 10  
 15

(脚用紙)



絶対主義リファジズム支配體制のもとにおい

ても社会政策の生産力説に對する批判がなか

つたわけではない。社会政策の資本制的合則

性が直接的生産行程に関連する問題であるに

しても、現実の資本の運動行程は直接的生産

行程と流通行程との結合としてのみ存在し、

労働力の充用、剰餘労働の收取が利潤率のた

めのものにはかたがたぬかぎり、社会政策にお

ける労働力保護もそれ自體を單純に目的とす

るものではなく、同時に資本家間の競争條件

の均等化の要求に宿するものであり、労働者

の負擔転化によつて生ずる労資の摩擦緩和を

企図するものであると批判され、また資本の

直接的生産行程は資本制生産の總行程の一構

成要素であつて資本制そのものの発展の一段

階ではなく、したがつて直接的生産行程にお

ける労働保護の問題と資本制の初期乃至自由

競争の時代に該当せしめ、資本の總行程より

する社会政策の本質究明は現段階に至つて始

めて可能であるとなす考え方は、

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )

ゆるな発展段階を貫き、端的初めであるとも、また基本的である。したがって労働者階級の自  
律的反抗運動がある場合、この女社会政策は始  
めて存在しているものとする。差は、社会政策  
実現

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

かれ隠蔽された内乱の産物である」といふ古典  
 的表現に、社会政策成立の社会的必然性を正  
 しく把握せねばならぬ。工場法・労働保護法  
 による労働力の維持増進が、労働者の肉体的  
 精力の回復とともに彼らの階級としての知的  
 向上・社会的政治的活動の可能性を與へるた  
 めには必要であることは、すでに歴史の過去に  
 おいてほかならぬ労働者階級の革命的前進自  
 ら世界的規模において確認したところである  
 (一八六六年のライプティヒゲン宣言)。  
 大企業決議(1901年)もまた逆に、組織  
 的階級の反抗力批判力としてこの社会運動、直  
 接的には労働組合の活動こそは労働法條件の  
 低下・労働力の劫

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )

完全性、労働の形式的包摂に止まる生産機構  
的制約に基づくものであつて、初期資本主義労働  
働政策は、社会政策の歴史的先行形態にすぎ  
ぬ。

5  
10  
15

( 腹 部 用 紙 )

にもたらす経済的並に社会的結果は、社会政  
策の發展諸形態に就てもまた基本的には当然  
あてはまるものといわねばならぬ。

る發展諸形態と限界性の問題 社会政策の  
国際的類型發展において工場法・労働保護法  
に次いで現れるのは社会保険制度である。

この発展の根本的の材料は

労働法や労働保護法

自主的労働組合と労働者の労働争議

争外労働者による強制的に保たせられて

それ自身労働法に「移された」あり。

たかまこれは労働法を労働者から労働者へ

に止まることと知れぬ。

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )

義勵制下における團結權承認・労働組合承認の必然的前提またその基礎的限界を思ふべきである。しかるに独占資本制下の社会政策は第一次大戦後のドイツに見るよゝに労働組合を單に承認された産業協力・社会的平和機構に止りず、更に労働協約制度とその連結機構「労働爭議調停制度を通じて、独占資本主義の統制經濟機構に編成し、遂に國家機構自體のうちに國家独占資本主義強制の一般化に転化せしめようとするに至る。

いつたい、資本主義の一般化危機の段階においてには独占資本は労働者階級が曾つて半いつた社会政策の進歩的要素を次々に奪還する。それは独占資本乃至國家独占資本の攻勢の社会的相視と最も露わに示すものにはかならずぬ。歴史的にいつて資本主義の一般化危機における帝國主義的超還利潤の必然的減退の傾向は、これを空想的な物質的

5

10

15

( 廢部用紙 )

生産力説が社会政策理論と其の傳統的概念  
から解放し、社会政策の資本制的合則性、解  
済機械的必然性を明確ならしめたことは否定  
し難い學問的功績であり、特に労働力保金の  
経済機械再生産に対する生産的意義を強調し  
たことは、日本ファシズムへの理論的抵抗とし  
て高く評價されたところであつたが、絶対主  
義リファシズム支配制下においてこそ、これに  
対する批判が存しなかつたわけではな

5

10

15

としてこのことはまた社会保険をめぐむる社会的抗争の重要性を明かにする。工場法の生成と発展とがこれとめぐむる直接的な抗争、更により大なる場面における社会的抗争の消長と

5  
10  
15

( 扉部用紙 )



社會政策の以上のよき社會理論に對する反  
擊

5

10

15

( 脚部用紙 )

譲歩として現れるに主るといふのである

5

10

15

( 脚部用紙 )

3  
取  
と  
け

なことを、此は彼らは救済しようもない無差  
別な敗戦者の群に墮落させられるであろう。

標準債銀獲得のため彼らの井争は、全債銀  
制度と不可分な事象だといふこと、

改定債銀の  
IP九二二二二  
ハ

（註）  
史山  
カヤリカスト  
一八三二条  
ア、  
四、

かけると、  
カヤリカスト  
一八三二条  
ア、  
四、

第三節

機械制大工業の原生的労働

関係と労働者階級の抗争

十八世紀の最後の三分の一の時期に至つて資本主義の祖国イギリスに機械制大工業が出現するにあよんで、資本関係に基く社会的模勢も全く転回

止代 我成到大工業の原生的労働の歴史

より企業を動かすに力を用いた人々の労働の歴史

の歴史を研究するに当り、その歴史を、また、その歴史の

女性に及ぼす影響を研究することを、研究する必要がある。

この二つの歴史を、その歴史を、また、その歴史の

に、その歴史を、その歴史を、また、その歴史の

の歴史を、その歴史を、また、その歴史の

の歴史を、その歴史を、また、その歴史の

の歴史を、その歴史を、また、その歴史の

の歴史を、その歴史を、また、その歴史の

5

10

15

( 扉部用紙 )

論的実践的の崩壊を露わならしめずたおかなか  
つた。このとき、帝國主義の経済的本質を闡  
明し、それが死滅しつづつある資本主義であり  
、社会主義革命の必要を意味すること、社会  
主義的愛國主義はブルジョアジーへの完全な  
除根に等しいこと、労働運動

本主義的の崩壊を露わならしめずたおかなか  
つた。このとき、帝國主義の経済の本質を闡  
明し、それが死滅しつづつある資本主義であり  
、社会主義革命の必要を意味すること、社会  
主義的愛國主義はブルジョアジーへの完全な  
除根に等しいこと、労働運動

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。このほかにはいろいろある。

(脚部用紙)

おける資本主義の一般の危機が、更に一をう  
出鋭化したことは、いかたにぶい眼をも欺き  
えない。帝國主義が、死滅しつつある資本主  
義であり、社會革命の前夜であることは、新  
たに世界的規模において立證され、また現に  
立證されつつある。第二次大戦によつて社會  
主義經濟<sup>II</sup>政治體制と資本主義經濟<sup>II</sup>政治體  
制との対立矛盾は、後者の不利に一をう激化  
されるに至つた。資本主義體制自體のうち  
において、ファシズム國家の脱落、フランスお  
よびイギリス帝國主義の衰頹によつて不均衡  
は拡大され、世界的に脆弱化と激しい。資  
本主義的世界市場の狭隘化は、植民地半植民  
地國の民族解放斗争、革命運動によつて拍車  
され、帝國主義的競争を激息をせしめずには  
あかない。

5

10

15

吾、その防衛はプロレタリアートの社会運動の  
歴カによつて必ず可能であることは、ドイツ  
およびフランスのプロレタリアートの革命的運  
動の最高指導者の自己批判また回顧的記録に

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

り、社会運動理論の最高の達成であることは  
・一九一七年ロシアにおけるプロレタリア革  
命とソヴェート社会主義の建設過程また世界社  
会運動の第一次大戦後における発展の現実過  
程が、刺すところなくまたつねに立証しつづ  
める

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )



否、その防衛は、プロレタリアート主導の全人  
民大衆の統一的反社会運動の壓力をもつてす  
れば必ず成功しえたであらうこと、また現に  
成功しえたことは、ドイツおよびフランスの  
プロレタリアートの革命的運動の各々の最右指  
導者の自己批判また斗争の記録によつて、最  
も力強く示されてゐる。社会運動の理論と歴  
史との最大のまた最新の教訓は、これらの一  
ちにこそ求められねばならぬ。

5

10

15

( 原 係 用 紙 )

( )

否、その防衛は、プロレタリアート主導の全人  
民大衆の統一的な社会運動の能力によつて必  
ず達成されたいであろうこと、また達成され  
たことは、ドイツおよびフランスのプロレタリ  
アート革命運動の最著者著の「フは自己批  
判の他は斗争記録によつて

5

10

15

( 扉部用紙 )

吾、その防衛は、プロレタリアート主導の全人  
民大衆の統一的な社会運動の壓力によつて充  
分に可能であつた

5

10

15

( 読 部 用 紙 )

如烙印を捺され、三十七人が鞭打たれ、それ  
二百八十三人あり、絶望的悪漢が釈放された。  
寺領の掠奪や、國有地の詐欺的譲渡や、其  
同地の盗奪や、顧慮すると云ふべきテロリス  
ムをまつて遂行された封建的および氏族所  
有の近代的所領への横奪的転化と、人民大衆  
を近代史の作物たる債労働者すなわち自由自  
由労働貧民に転化させるためのテロリス  
ム的的方法

5

10

15

( 脚部用紙 )

第三章 社會運動の帝國主義的段階

第一節 帝國主義と日知見主義的

運動

前世紀の九十年代に益々帝國主義的相貌をとるに至つた世界資本主義の構造的変化とまさに必然的の関連して、社會運動における日知見主義の歴史的進出が達成された。且世界の分割を意味し、多數の最富裕國の独自の高利權を意味する帝國主義は、プロレタリアートの上層を買収するための経済的可能性を生み出し、且つかくして日知見主義を扶養し形成し且つ鞏固にする。且更ら

5

10

15

( 脚部用紙 )

第一章 社會運動の生成過程

第一節 社會運動の先行形態

社會運動の本質的内容をなすものは、資本  
家と賃労働者との間の、ブルジョアジーと  
プロレタリアートの間の斗争であり、この斗  
争は、資本関係そのものともいへば、始まる。し  
かし、社會運動の先行形態は、資本関係を創造  
する過程そのものうちにすでに見出され、

5

10

15

( 扉 部 用 紙 )

一は、労賃を調節するたために一すなわち資本  
の増強に適合する制限内に押し込めるために  
、また労働日を延長し且つ労働者そのものを  
標準的の従属状態に程度において維持するため  
に、國家的權力を必要とし、且つ利用した。  
可賃銀と労働者には不利の雇主には有利に規  
制した諸條例也

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

に国民を共産主義的狀態に引入れようとする  
は、社会主義は現在の形態では決して労働階  
級の共有財産とはなりえないであろうとい  
つて、資本主義的生産の最も発展せる国にお  
いて、そしてそれから生じた諸討立の影響の  
もとに、フランスの唯物論に直接結びつけて  
階級差別廃止案を組織的に展開したオースト  
アの社会主義もまた免れなかつた空想的性格  
を指摘せねばならなかつた。

資本主義的生産の未熟な状態、階級の未熟  
な地位に照應して未熟な社会主義理論が生れ  
た。社会問題の解決方法は、なお未発展の經  
済的関係のうちには隠されていた。そこでそ  
れは頭の中から作り出されねばならなかつた。  
これらの新社会制度が空想物であつたのは止  
むえな古い運命であつた。マルクスに負う二  
大発見——唯物史観と、剰餘價值による資本主  
義的生産の秘密の暴露とによつて社会主義は  
始めて一つの科学となつた。社会主義は、歴  
史的に發生した二つの階級——プロレタリアート

5  
10  
15

( 脚註用紙 )



に国民を共産主義的狀態に引き入れようとする。社会主義は現在の形態では決して労働者階級の共有財産とはなりえないであろう。といつて、当時資本主義的生産の最も奮起せる国において、そしてそれより生じた諸村立の影響のもとに、フランスの唯物論に直接絡みつて階級差別廃止案を組織的に展開したオールのエンの社会主義もなお買われなかつた。思想的性格と指摘せざるをえなかつた。

5

10

15

者が一夫労働に参加したこと、就この各労働  
部門の宣言である。日本家への復興から資本  
家を譲渡せしめるための斗争への進歩は、

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

者が一大労働に参加したことについでに各労働部門の宣言である。資本家への復讐から資本家を譲歩せしめるための斗争への社会運動の轉換は、労働者の巨大なる進歩を示すのみではなく、経済斗争はまた社会運動の其後の成功の真実の擔保の役割を果す。レニンはこのことを指摘して労働者大衆は、この斗争において、第一に、諸々の資本主義的搾取方法をそれれ識別し、また分析することを目指す、これらの方法を法律・自己の生活條件・資本家階級の利益との関連において考察することを目指す。労働者は搾取の何々の形態および場合を分析しつゝ、その完璧における搾取の意義と本質を理解することを目指す。資本による労働の搾取に基く社会組織を理解することを目指す。第二に、労働はこの斗争において自己の力を試すのである。そして統一を目指す、統一の必要と意義を理解することを目指すのである。この斗争の拡大と労働衝突の類型は、不可避免的に斗争を拡大せしめ、統一の

5

10

15

( 階級用語 )

在社會制度を梅をあゆることではなくて、こ  
れら二階級とその対立とを必然的に生ぜしめ  
た歴史的経路の経過を研究し、これによつて  
現出せる経路状態のうちこの対立を解決す  
べき手段を發見することとなつた。空想より  
科学へのこの社会主義の發展マルクスシム  
こそは、労働者階級の共有財産として彼らの  
社会運動と社会主義理論との結合を達成せし  
め、労働者階級のそれ自身のための階級の構  
成を、また階級対階級の斗争の一の政治斗争  
に同かならぬことを自覚せしめらるるのである

。

5

10

15

第三節

社會運動の發展過程にお

けるマルクシズム

しかしながら、労働者階級の斗争と連繫を

もち主としてプロレタリアートの間に普及す

べた社會主義思想の諸形態

5

10

15

( 脚 部 用 紙 )

に至つたといふことである。一般の危機の國家  
独占資本主義のもとにおける日和見主義の改  
良主義の転化形態、社會主義のこの終局  
的運命とここに見出すことなができる。

5

10

15

( 扉 部 用 紙 )

よび特に労働組合の、口病める資本主義に付す  
る送者と相續者との二重の役割に強調し、  
党および労働組合大衆に借録の座下、争議罷  
業の制約、失業・操短労働、恐慌のあつゆる様  
状と肯定せしめようとした。しかし歴史の現  
実は何よりも明確に示すところは、社会民主  
党および傘下の労働組合

5

10

15

利権の上に社會的に安住をたづづけること十九  
世紀の後半におけるイギリスのごとくである  
のは、もはや不可能であつて、したがつて社  
會運動の目的を見主義改良主義から社會ファ  
シズムへの傾斜は免れ難く、しかもその指導  
下の弱體資本主義國の社會運動にあたる影  
響は、決してそれによつて温和な性格にのみ  
止まりえないことを思わねばならない。しか  
も敗戦弱體資本主義の復興が、専ら國家獨占  
資本主義のもとに企てられらば、資本主  
義の一般的危機の新たな局面の諸條件からい  
つても、社會主義改良主義の危機的形  
態、<sup>ト</sup> <sup>リ</sup> <sup>カ</sup> <sup>フ</sup> <sup>ア</sup> <sup>シ</sup> <sup>ズ</sup> <sup>ム</sup>の温和な翼、社會ファ  
シズムの思惟的存在を許す餘裕は極めて乏し  
く、

5

10

15



( )

五  
五  
の  
F

5

10

15

( 腹  
部  
用  
紙 )

感  
懷  
去  
聲  
唐  
古  
世

( )  
5

10

15

( )  
聯  
係  
用  
紙  
( )

( )

5

10

15

社會運動の理論及歴史

( 扉部用紙 )

第一章 社會運動生成過程

5

10

15

( 扉  
部  
用  
紙 )

( )

日  
段  
文  
庫  
版  
上  
卷

5

10

15

(  
腰  
部  
用  
紙  
)

か烙印を捺すれ、三十七人か鞭打たれ、  
乙百八十三人か

5

10

15

( 脚部用紙 )

17 Aug. 1921  
林 雲

1921

5

10

15

( 扉 部 用 紙 )

論文

三月ロンドン・コムモンウェール誌への寄稿

5

10

15

( 脚部用紙 )



動における政治斗争と社会主義理論との結合  
の必然性と明かに展望した

( )  
5

10

15

( )  
脚部用紙  
( )

ゼネラル・カルテル創出の傾向と中央銀行形  
成の傾向との統合に期待せんとする。金融資本  
の歴史の傾向に關する分析は、日資本主義  
的畫像の歴史の傾向に關するマルクスの  
解明とは著しい乖離を示し、マルクス主義と  
日和見主義と融和させようとする性格と見せ  
し難い。かくて日和見主義は、修正主義論争  
のゆえに反つて次第にドイツ社会運動に渗透  
し、またしたかつて独逸社会民主主義によつ  
て中核が形成されていた第二インターナシヨ  
ナルを支配するに至つた。また社会民主主義  
指導理論の帝國主義批判の限界性は、第一次  
帝國主義戦争の奇夜一九一二年第二インター  
ナシヨナルのバアゼル宣言にその集約的表現を  
見出すこととなつた。この宣言は、第二イン  
ターナシヨナルの勇士たちの取すべき破産す  
なわち全き変節の記念碑として残つていゝ。日  
本第一次大戦は、日和見主義を修正主義者また  
カウツキトウを悉く社会主義的愛國主義者に  
転落せしめ、修正主義またカウツキトウ主義の理

73

5  
10  
15  
( 脚 部 用 紙 )

ゼネラル・カルテリ創出の傾向と中央銀行形  
成の傾向との統合に、資本主義の計画的組織  
性を期待しようとした可金融資本の歴史的傾  
向に關するマルクスの

5

10

15

( 扉部用紙 )

か  
ね  
ら  
る  
・  
か  
ら  
れ  
る  
創  
出  
の  
傾  
向  
と  
中  
央  
銀  
行  
形  
成  
の  
傾  
向  
と  
の  
統  
合  
に  
、  
資  
本  
主  
義  
の  
計  
畫  
性  
を  
期  
待  
し  
よ  
う  
と  
し  
た  
日  
金  
融  
資  
本  
の  
歴  
史  
的  
傾  
向  
也

5

10

15

( 腹 部 用 紙 )

セネラル・カールテル創出の傾向と中央銀行形  
成の傾向との統合に資本主義の計畫性を期す  
せんとする可金融資本の歴史的傾向に關する

5

10

15

( 腹巻用紙 )